100億宣言

エネグローバル株式会社（再生可能エネルギー事業）



EG筑西市布川第二発電所（営農型）

〇本社所在地：茨城県つくば市
〇事業概要：太陽光発電所(地上設置型、営農型)の開発事業および発電事業、系統蓄電池等、分散型エネルギーシステムの開発事業
〇常時使用する従業員：52名
（2026年9月時点）
〇現在の売上高：53億円
（ 2026年3月期）
〇法人番号：7010001164398
〇Web：https://www.eneglobal.jp/

企業理念・100億宣言に向けた経営者メッセージ



代表取締役社長
上野　嘉郎

再エネと共に生きる未来

私たちエネグローバルは、地球温暖化を食い止め、持続可能な未来を切り開くため、太陽光発電や系統用蓄電池などの分散型エネルギーシステムの開発・推進を通じ、再生可能エネルギー普及の最大化に貢献することを目指しています。今日私たちが創り出すエネルギー基盤が、次世代の社会を支える柱となること。この使命をより速く、より力強く推進し、さらなる社会インパクトを生み出していくためには、より強固な事業基盤が必要不可欠であり、私たちは「売上高100億円」という高い目標を掲げました。この目標達成に向け、将来の新たな事業展開も見据えた積極的な投資を行うとともに、当社の成長を支える人材の育成や、全員が安心して挑戦し共に成長できる職場環境の整備に努め、一歩ずつ着実に前へ進んでまいります。

売上高100億円実現の目標と課題

実現目標

・2026年3月期の売上高53億円を起点に、年率約17%の成長を継続して、 2030年に売上高100億円を達成する
・2030年に向けて、太陽光発電所（地上設置型・営農型）と系統用蓄電池で総計1,000MW分のエネルギー開発投資を行う
・地上設置型太陽光を主力に開発規模を拡大し、開発・販売と売電収入を両輪で伸ばす

課題

・太陽光発電所/系統用蓄電池の開発用地と系統連系枠の継続的な確保
・開発規模の拡大に見合う資金調達力の強化
・FIP移行や電力市場価格の変動など、制度・市場環境の変化への対応
・事業規模に見合う組織への拡大と、管理体制・幹部人材の整備

売上高100億円実現に向けた具体的措置

目指す成長手段

・地上設置型/営農型太陽光の開発エリアを広げながら規模を拡大
・系統用蓄電池の自社開発・運用に本格参入し、再エネの出力変動を補う調整力を電力系統へ供給
・FIP転換とコーポレートPPAにより環境価値付き電力を需要家へ直接供給し、FIT制度に依存しない収益モデルを確立
・保有発電所の運用・保守（O&M）を通じたストック収益の積み上げ

実施体制

・都市銀行/地域金融機関からのコーポレートファイナンスに加え、プロジェクトファイナンス等で調達手段を多様化
・電力マーケットを熟知する人材の育成と採用を通じ、発電事業の柔軟性を高める

※本宣言は企業自身がその責任において売上高１００億円を目指して、自社の取組を進める旨を宣言するものです